

2009年8月10日 現地演習

ウジュンクロン国立公園本部事務所訪問（8月10日）

ラブワン(ラブアン) (Labuan) にあるウジュンクロン国立公園本部を訪問した。この事務所には、国立公園で見られる動物や植物の展示だけでなく、ウジュンクロン国立公園全体の精巧なジオラマがある。国立公園の地理的情報を含めた概要を、新たに認識しなおす事が出来た。プチャン島の資料館では動物標本など、具体的な展示が多かったのに対して、本部事務所の展示は広い視点から見た国立公園の現状などがまとめてあり、フィールドスクールのまとめの場として相応しく感じた。

ウジュンクロン国立公園が保護しているジャワサイのビデオを見せて頂いた。今回の国立公園訪問中に何度も聞いた名前であるが、実際に動いている所を目にするのはこの時が初めてだった。職員の方々は、このジャワサイを含め、ウジュンクロン国立公園の自然を守っていくために、これからも地域との連携を強化し頑張っていくと熱く語ってくれた。

今回のフィールドスクールでは、国立公園の職員さんと村の共同組合の人々、両方の話を聞く機会に恵まれたが、その中で感じたのは、お互いの中にある相手への不信感であった。地域の自然を守っていき、地域を良くしていきたいという気持は双方にあるのに、それを上手く伝えあい共有する事が出来ていないという現状がある。これを打開するために私達、外の間人は一体何が出来るであろうか。今回の私達の滞在、私達が双方と関わりを持ったという事実が、何らかの形でこの村に影響を与える事になれば良いと感じた。

（記録：原田ゆかり）